

## 地域とともにある五城目小学校

校長 戸部裕隆

第48代校長として4年目の春を迎えました。本校には平成21・22年度の2年間、教頭として勤務していましたので、通算するとここ「あさひ台」での勤務は6年目ということになります。教頭から校長の間の3年間は県教育庁に勤務しましたが、ここでも五城目とのつながりをもっていました。また、かつて小学校体育連盟という組織があった当時からバスケットボール部門の事務局や公認審判員、指導者としても町の方々と関わりをもち、役所時代にも何度も仕事で訪れていましたので、この町は私の第2のふるさどになっています。ここ「あさひ台」（五城目小学校）では、夢に向かって知・徳・体を鍛える五小っ子や彼らを後押しするすべての方々との触れ合いから学ぶことがとても多く、新たな可能性に気付かせてくれる場、あらゆる世代を紡ぎ地域を盛り上げられる大切な場所となっているように感じます。

さて、創立143年目となった平成29年度は、児童数が若干増えて280名、学級数も1増の14学級、教職員44名でのスタートとなりました。学校全体が最高学年の6年生を中心に落ち着いた雰囲気です。1年生55名は思いのほか早く溶け込み、元気に登校しています。

入口のところではもりやまこども園との連携、そして出口のところでは五城目第一中学校との連携の充実が本校経営の基盤を一層良好なものにしてきているように思います。



4/18 1・2年なかよし集会（2年生の発表）



4月PTA（6-1授業風景）

五城目町に長く住んでいらっしゃる町民は気付かない人がいるかも知れませんが、この町の人・もの・自然や文化・人々の暮らしには、数え切れない程の財産・価値があります。五小経営を担う4年目も、そうした価値あるものの中から小学校教育のねらいを達成するに適した内容を収集・整理するとともに、「すべては五小っ子のため、保護者のため、そして町の未来のため」を心に刻みながら学びの質を高められるよう努めてまいります。校長として、地域の皆様とともに町のよさを教育的に価値付けながら子どもたちを育てていく学校、地域とともにある学校として町民に親しまれ愛される存在感のある五城目小学校となるよう力を尽くしてまいりますとの思いで心を踊らせているところです。

一人一人が将来に夢や希望をもち、主体的・積極的にチャレンジをしていく、その中で自らの可能性を伸ばしていきながら社会の形成者として充実した人生を歩むことができるようになってほしい。平成32年度から完全実施となる次期学習指導要領がこの3月31日に告示されましたが、そうしたことが要領の中にも盛り込まれています。

次世代を担う人々をどのように育てるか。このことは社会がどのように変化しようとも大人に課せられた不易の課題であります。今年度もまた地域の皆様のお力を借りながら、「夢高く心たくましく 学び合う五小の子」を目指した取組を進め、将来を生き抜く力の基礎固めに全力を注いでまいります。引き続き本校教育へのお力添えをどうかよろしくお願いいたします。